

ばい煙特定施設設置（~~使用、変更~~）届出書

令和〇年〇月〇日

群馬県知事 へ

届出者 前橋市大手町 1-1-1  
ぐんまけんちょうこうぎょう  
群馬県庁工業株式会社  
あかぎ たろう  
代表取締役 赤城 太郎

群馬県の生活環境を保全する条例第 15 条第 1 項（~~第 16 条第 1 項、第 17 条第 1 項~~）の規定により、ばい煙特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	群馬県庁工業株式会社 前橋工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	前橋市大手町 1-1-1	※受付年月日	年 月 日
ばい煙特定施設の種類	9 項 酸洗い施設(1 基)	※施設番号	
△ばい煙特定施設の構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
△ばい煙特定施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	
△ばい煙の処理の方法	別紙 3 のとおり。		

- 備考 1 ばい煙特定施設の種類欄には、別表第 1 に掲げる項番号及び名称を記載すること。  
2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等  
を利用すること。  
3 ※印の欄には、記載しないこと。  
4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照さ  
せること。  
5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業  
規格 A 4 とすること。

別紙1

工場又は事業場における施設番号	2号	
ばい煙特定施設項番号及び名称	9項 酸洗い施設	
型式	SA-2019	
施設の設置場所	別添図面参照	
設置年月日	年月日	年月日
工事着手予定年月日	令和〇年△月□日	年月日
工事完成予定年月日	令和〇年□月〇日	年月日
使用開始予定年月日	令和〇年□月×日	年月日
規模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	
	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)	
	原料の処理能力 (t/h)	
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )	
	変圧器の定格容量 (kVA)	
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)	
	焼却能力 (kg/h)	
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )	
	電流容量 (kA)	
	ポンプの動力 (kW)	

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙特定施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙 2

工場又は事業場における施設番号		2号					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	8時~9時 1時間/回 1回/日 20日/月			時~時 時間/回 回/日 日/月		
	季節的変動	なし					
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	塩酸					
	使用割合	10~25% (容量比)					
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分		
	1日の使用量	10kg/日					
燃料又は 電力	種類						
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	硫黄分	窒素分	灰分	硫黄分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量						
	混焼割合						
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)		湿り	最大	通常	最大	通常	
		乾き	最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度 (℃)							
排出ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙の 濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	0.01	通常	0.005	最大	通常
	硫黄酸化物 (容量比 ppm)	最大	0	通常	0	最大	通常
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大		通常		最大	通常
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	1.1	通常	1.0	最大	通常
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	11.1	通常	5.0	最大	通常
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大		通常		最大	通常
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大		通常		最大	通常
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	最大		通常		最大	通常
	シアン化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	0	通常	0	最大	通常
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	0	通常	0	最大	通常
その他参考となるべき事項							

- 備考 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載すること。

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号			
処理に係るばい煙特定施設の工場又は事業場における施設番号		2号			
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		酸系スクラバーETS 100-2型			
設置	年 月 日	年 月 日	年 月 日		
工事着手予定	年 月 日	令和○年△月□日	年 月 日		
工事完成予定	年 月 日	令和○年□月○日	年 月 日		
使用開始予定	年 月 日	令和○年□月×日	年 月 日		
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	29,400		
		通常	27,500		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	50		
		処理後	40		
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		硫黄酸化物 (容量比 ppm)	処理前		
			処理後		
		カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	10	
			処理後	1	
		塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	50	
			処理後	5	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	処理前			
		処理後			
シアン化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
	処理後				
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前		
			処理後		
		通常	処理前		
			処理後		
捕集効率 (%)	ばいじん				
	硫黄酸化物				
	カドミウム及びその化合物				
	塩素			90	
	塩化水素			90	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素				
	鉛及びその化合物				
	窒素酸化物				
シアン化水素					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		8時～11時 3時間/回 1回/日 20日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季節的変動				
排出口の実高さ H <sub>o</sub> (m)		8.5m×0.8φm			
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)		8.5			
排出速度 (m/s)		15			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は、第6条第2項の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。